






令和5年度秋期 健康食品管理士/食の安全管理士 認定試験問題

◎ 指示があるまで開かないこと。(2023年11月12日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

注意事項

1. 解答時間は次のとおりとする。
13時00分～15時30分
2. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 各問題には1から5までの五つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つ選び、次の例にならってマークシート用紙に記入すること。
(例) 問題101. 県庁所在地はどれか。
 - 1) 栃木市
 - 2) 川崎市
 - 3) 神戸市
 - 4) 倉敷市
 - 5) 別府市正解は「3」であるからマークシート用紙の
101 (1) (2) (3) (4) (5) のうち (3) をマークして
101 (1) (2) (3) (4) (5) と記入すること。
 - 2) 答案の作成には鉛筆を使用し、濃くマークすること。
良い解答の例:  (濃くマークすること)
悪い解答の例:    (解答したことになる)
 - 3) 答えを修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色を残したり「」のような消し方などをしたりすると、修正したことにならないので注意すること。
 - 4) マークシートは折り曲げたりメモやチェックで汚したりしないように注意すること。
 - 5) この問題用紙は回収する。

2023

問題 1. 昭和 23 年頃の日本人の死因の第 1 位の疾患はどれか。

- 1) 結核
- 2) 肺炎
- 3) 心疾患
- 4) 悪性新生物
- 5) 脳血管疾患

問題 2. がん予防の 12 か条で最も頻度が高く出てくる注意すべき事項は何についてか。

- 1) 禁煙
- 2) 運動習慣
- 3) 食生活習慣
- 4) ストレスの軽減
- 5) 無添加食品へのこだわり

問題 3. 輸入されたダイエット食品に混入していた覚せい剤取締法違反になる素材はどれか。

- 1) モルヒネ
- 2) エフェドラ
- 3) ジブトラミン
- 4) マジンドール
- 5) リン酸ジヒドロコデイン

問題 4. 「汝の食事を薬とし、汝の薬は食事とせよ」と言ったのは誰か。

- 1) 玄宗皇帝
- 2) 貝原益軒
- 3) ダーウィン
- 4) ヒポクラテス
- 5) セントジオルジー

問題 5. 生薬原材料と食品との関連における薬機法で、食薬区分は大きく幾つに分類されているか。

- 1) 薬と食の 2 区分
- 2) 毒性の強い生薬、毒性の弱い生薬、いわゆる食品の 3 区分
- 3) 毒性の強い生薬、毒性の弱い生薬、毒性のない生薬を食品とする 3 区分
- 4) 毒性の強い生薬、毒性の弱い生薬、毒性のない生薬、いわゆる食品の 4 区分
- 5) 毒性の強い生薬、毒性の弱い生薬、毒性のない生薬、漢方薬、いわゆる食品の 5 区分

問題 6. フードファディズムの意味として正しいのはどれか。

- 1) 健康食品成分の安全性の過大評価
- 2) 遺伝子組み換え危険性の過大評価
- 3) 添加物無添加食品の安全性の過大評価
- 4) 残留農薬含有食品の危険性の過大評価
- 5) 食品の健康等におよぼす効果の過大評価

問題 7. 抗酸化物質が多量に存在すると起こりやすい共通の性質はどれか。

- 1) メイラード反応促進
- 2) プロオキシダント作用
- 3) α -グルコシダーゼ阻害
- 4) アデニル酸シクラーゼの活性化
- 5) アンギオテンシン変換酵素阻害

問題 8. いわゆる健康食品に添加されていても違法にならないのはどれか。

- 1) トリカブト
- 2) マジンドール
- 3) ラフィノース
- 4) フェンフルラミン
- 5) トリヨードサイロニン

問題 9. 次の表示で 46 通知において規制されない食品表示はどれか。

- 1) 高血圧に有効なペプチド成分が含まれています。
- 2) この食品は和漢伝法手法により製造されています。
- 3) この食品はビタミン、ミネラルが非常に豊富です。
- 4) この食品に含まれるタウリンが肝機能を高め 2 日酔いを防止します。
- 5) この食品成分 A は、〇〇大学教授ががんに有効であることを報告しています。

問題 10. 臨床試験に参加する被験者の人権と安全を守るために、1964 年に世界医師会によって採択された「ヒトを対象とした医学研究のための倫理規程」は次のどれか。

- 1) リオ宣言
- 2) 京都宣言
- 3) ハーグ宣言
- 4) ヘルシンキ宣言
- 5) ノールトヴェイク宣言

問題 11. 左側の食品を右側の名称で表記すると医薬品扱いになるので認められないのはどれか。

- 1) 山 芋 —— サンヤク
- 2) ビタミン A —— レチノール
- 3) コブラの肝 —— 蛇 肝
- 4) プラセンタ —— 胎 盤
- 5) C o Q10 —— 補酵素 Q

問題 12. 特定保健用食品の安全性を審査する機関はどこにあるか。

- 1) 内閣府
- 2) 消費者庁
- 3) 経済産業省
- 4) 農林水産省
- 5) 厚生労働省

問題 13. 食品の第 2 次機能に該当する事項はどれか。

- 1) 大豆のたんぱく質がエネルギー源となる。
- 2) ウコンのクルクミンが肝機能を改善する。
- 3) 野菜の食物繊維が糖質の吸収を抑制する。
- 4) バニラの香りがプリンを美味しくさせる。
- 5) 食品から抽出された食品添加物が静菌作用を示す。

問題 14. ビタミン B6 の化学名はどれか。

- 1) コバラミン
- 2) ピリドキシン
- 3) アスコルビン酸
- 4) トコフェロール
- 5) カルシフェロール

問題 15. 栄養機能食品として n-3 系脂肪酸に認められている表示はどれか。

- 1) 赤血球の形成を助ける栄養素です。
- 2) 認知機能を活性化する栄養素です。
- 3) 皮膚の健康維持を助ける栄養素です。
- 4) コレステロール値の上昇を抑制する栄養素です。
- 5) 血管のしなやかさを保つのに有効な栄養素です。

問題 16. 栄養機能食品について誤っているのはどれか。

- 1) 過剰症がある。
- 2) 下限値がある。
- 3) 医薬品との相互作用がある。
- 4) 病気治療に用いるよう薦める。
- 5) 疾患によっては摂ってはいけないものもある。

問題 17. 疫学的にがんを防ぐと認められたのに大規模な介入試験の結果、その効果が否定されたのはどれか。

- 1) アガリクス
- 2) 茶カテキン
- 3) イチョウ葉
- 4) ローズマリー
- 5) β -カロテン

問題 18. 食品として認められないのはどれか。

- 1) クズ澱粉
- 2) クワの根皮
- 3) ゲンチアナの花
- 4) グラビオラの果実
- 5) ケシの発芽防止処理した種子

問題 19. インドネシアでは普通に食べられている野菜で、その多量摂取により台湾で 100 人以上の死者を出したのはどれか。

- 1) コンフリー
- 2) アマメシバ
- 3) ローズマリー
- 4) セント・ジョーンズ・ワート
- 5) インドネシア産カリフラワー

問題 20. 抗酸化作用が強いのはどれか。

- 1) 葉酸
- 2) ビオチン
- 3) メナジオン
- 4) アスコルビン酸
- 5) カルシフェロール

問題 21. 成人におけるカルシウムの栄養機能食品としての一日摂取量上限値はどれか。

- 1) 300mg
- 2) 600mg
- 3) 900mg
- 4) 1,200mg
- 5) 1,500mg

問題 22. アンギオテンシン変換酵素阻害が血圧降下作用を示す食品成分はどれか。

- 1) ゴマペプチド
- 2) ゲニポシト酸
- 3) ラクチュロース
- 4) イソバルバロイン
- 5) シクロクルクミン

問題 23. 整腸作用が特定保健用食品として認められている食品素材はどれか。

- 1) ポリオール
- 2) ムメフラール
- 3) ギンコライド
- 4) ゼアキサンチン
- 5) サイリウム種皮

問題 24. 乳酸菌の発育を強く促進する食品成分はどれか。

- 1) 乳 酸
- 2) 寒 天
- 3) パラチノース
- 4) フラクトオリゴ糖
- 5) ポリデキストロース

問題 25. 一般人に健康食品情報を与える際、最も注意しなければならないことはどれか。

- 1) 求めている健康食品の成分を詳しく話す。
- 2) 健康食品は効果がないから摂取するなと禁止する。
- 3) その人の病状を判断して適当な健康食品を勧める。
- 4) 「主食、主菜、副菜をバランスよくとる」ことの重要性を話す。
- 5) 高齢者は健康食品について良く知っているので指導は必要ない。

問題 26. α -グルコシダーゼ抑制作用が認められている食品成分はどれか。

- 1) 茶カテキン
- 2) エリスリトール
- 3) ポリグルタミン酸
- 4) カゼインホスホペプチド
- 5) グァバ茶ポリフェノール

問題 27. 特定保健用食品の成分で、糖と中性脂肪の吸収抑制作用が認められているのはどれか。

- 1) 大豆たんぱく質
- 2) ジアシルグリセロール
- 3) 難消化性デキストリン
- 4) グロビンたんぱく分解物
- 5) リン脂質結合大豆ペプチド

問題 28. 厚生労働省が平成 17 年に「錠剤、カプセル等の形状をとる健康食品に対して、品質と安全性の確保に関するガイドライン」を示したが、そこで健康食品の製造にあたって推奨したのは、次のどれか。

- 1) I S O
- 2) G M P
- 3) H A C C P
- 4) Q C 室設置
- 5) Q C 管理者の常置

問題 29. テアニンに関して民間で強く知られている作用はどれか。

- 1) 鎮静作用
- 2) 抗肥満作用
- 3) 筋肉増強作用
- 4) 血糖上昇抑制作用
- 5) 脂肪合成促進作用

問題 30. 栄養機能食品としてカプセル・錠剤型が認められない成分はどれか。

- 1) 鉄
- 2) 亜鉛
- 3) カリウム
- 4) カルシウム
- 5) マグネシウム

問題 31. 民間で前立腺肥大に有効とされるのはどれか。

- 1) 生姜
- 2) はと麦
- 3) スッポン
- 4) ドクダミ茶
- 5) ノコギリヤシ

問題 32. ルチンを含有し血圧に良いと言われる食品はどれか。

- 1) ソバ
- 2) バナナ
- 3) シイタケ
- 4) ドライトマト
- 5) ローズマリー

問題33. コレステロール吸収抑制が特定保健用食品の素材として認められているのはどれか。

- 1) コハク酸
- 2) メバロン酸
- 3) アルギン酸ナトリウム
- 4) レチノイン酸ナトリウム
- 5) グリチルリチン酸ナトリウム

問題34. 食事バランスガイド（基本形）について、正しいのはどれか。

- 1) 肉や魚は副菜に入る。
- 2) コマの主食のすぐ下段は主菜である。
- 3) 水・お茶はコマの軸で表現している。
- 4) 果物の1つ（SV）はみかん2個分である。
- 5) 主食の1SVはコンビニ標準おにぎり半分にあたる。

問題35. 正しいのはどれか。

- 1) 胆汁酸は胆のうで作られる。
- 2) ペプシンはだ液に含まれる。
- 3) ガストリンは胃酸の分泌を抑制する。
- 4) 胆汁はビタミンAの吸収に必須である。
- 5) 非ヘム鉄の吸収は還元剤により阻害される。

問題36. 二糖糖類はどれか。

- 1) マルトース
- 2) グルコース
- 3) デキストリン
- 4) グリコーゲン
- 5) デオキシリボース

問題37 骨格筋細胞には存在しないのはどれか。

- 1) アルドラーゼ
- 2) ヘキソキナーゼ
- 3) ピルビン酸キナーゼ
- 4) 6-ホスホフルクトキナーゼ
- 5) グルコース 6-ホスファターゼ

問題38. T C A回路が 1 回転する間に放出される二酸化炭素の数はいくつか。

- 1) 0
- 2) 1
- 3) 2
- 4) 3
- 5) 4

問題39. 呼吸鎖 (電子伝達系) について正しいのはどれか。

- 1) A T Pを消費する。
- 2) 炭酸ガスを生じる。
- 3) 酸素分子を生じる。
- 4) 小胞体に存在する。
- 5) N A D Hが酸化される。

問題40. インスリンについて正しいのはどれか。

- 1) 糖新生を促進する。
- 2) 膵島 α 細胞から分泌される。
- 3) 肝臓でのグリコーゲン分解を促進する。
- 4) 筋肉のグルコースの取り込みを抑制する。
- 5) 脂肪組織のホルモン感受性リパーゼを抑制する。

問題41. リノール酸は分子内にいくつ二重結合を有するか。

- 1) 0
- 2) 1
- 3) 2
- 4) 3
- 5) 4

問題42. カルニチンは長鎖脂肪酸を細胞内の細胞質からどこに輸送するか。

- 1) 細胞外
- 2) ゴルジ体
- 3) リソソーム
- 4) 粗面小胞体
- 5) ミトコンドリア

問題43. 比重がもっとも小さいのはどれか。

- 1) HDL
- 2) IDL
- 3) LDL
- 4) VLDL
- 5) カイロミクロン

問題 44. 成長ホルモンの分泌を促進するのはどれか。

- 1) プロリン
- 2) アルギニン
- 3) グルタミン酸
- 4) アスパラギン酸
- 5) トリプトファン

問題45. 尿素回路の成分はどれか。

- 1) クエン酸
- 2) リンゴ酸
- 3) オルニチン
- 4) オキサロ酢酸
- 5) 2-オキシグルタル酸

問題46. 正しいのはどれか。

- 1) 体液の2/3は細胞外液である。
- 2) マグネシウムイオンは血圧を上昇させる。
- 3) 食事から摂取する水分量は代謝水量より多い。
- 4) 健康人の1日あたりの平均尿量は約3,000 mLである。
- 5) 健常成人男性に含まれる水の割合は重量比で約40%である。

問題47. 脂質のアトウォーター係数はどれか。

- 1) 4 kcal/g
- 2) 7 kcal/g
- 3) 9 kcal/g
- 4) 12 kcal/g
- 5) 15 kcal/g

問題48. 遺伝子のうち、たんぱく質合成に必要な部分を意味する用語はどれか。

- 1) ゲノム
- 2) エクソン
- 3) ゲノミクス
- 4) イントロン
- 5) スプライシング

問題 49. えん下困難者用食品（特別用途食品）につけなければならないマークはどれか。

1)



2)



3)



4)



5)



問題 50. 栄養成分表示について正しいのはどれか。

- 1) 生鮮食品には表示できない。
- 2) 辛さを強化した場合表示する必要がある。
- 3) カルシウム含量は表示しなければならない。
- 4) 加工食品にも原則表示しなければならない。
- 5) 成分値が適合している場合は適合マークを表示しなければならない。

問題 51. 食品の安全に関する記述で正しいのはどれか。

- 1) しょうゆには致死量はない。
- 2) 無添加表示食品は安全である。
- 3) 天然に存在するものは安全と考えてよい。
- 4) B S E の発生確率は小さいがハザードは大きい。
- 5) リスクマネジメントによって食品のリスクはゼロになる。

問題 52. ある地域の食塩摂取量と高血圧症の発生率を調査する方法はどれか。

- 1) 横断研究
- 2) 介入研究
- 3) コホート研究
- 4) 症例対象研究
- 5) 生態学的研究

問題 53. 有病率の説明として最も適切なのはどれか。

- 1) 寄与危険を計算する時に用いられる。
- 2) 相対危険を計算するときに用いられる。
- 3) ある疾病に罹患した者の重篤度を調べる時に用いられる。
- 4) ある時点での疾病を有する者の割合を調べる時に用いられる。
- 5) ある期間内に新たに疾病に罹患した者の割合を調べる時に用いられる。

問題 54. 食品添加物について正しいのはどれか。

- 1) 食塩は食品添加物である。
- 2) 特定の保健の用途が期待できる。
- 3) 表示をしなくてもよい食品添加物がある。
- 4) ネガティブリスト方式が採用されている。
- 5) 粗悪な製品を変装することが期待される。

問題 55. 次の食品添加物のうち甘味料はどれか。

- 1) ソルビン酸
- 2) β -カロテン
- 3) チアベンダゾール
- 4) L-アスコルビン酸
- 5) アセスルファムカリウム

問題 56. 青梅によって起こる食中毒と最も関連が深いのはどれか。

- 1) アコニチン
- 2) アミグダリン
- 3) シガトキシン
- 4) スコポラミン
- 5) サキシトキシン

問題 57. 食品添加物公定書が作成されるきっかけになった物質と最も関連が深いのはどれか。

- 1) 鉛
- 2) ヒ素
- 3) 水銀
- 4) PCB
- 5) カドミウム

問題 58. わが国でゲノム編集を除く遺伝子組換え食品で安全性が確認された農作物はどれか。

- 1) さといも
- 2) キャベツ
- 3) きゅうり
- 4) さつまいも
- 5) じゃがいも

問題 59. 栄養状態の改善を示すものはどれか。

- 1) 皮下脂肪厚が低下する。
- 2) 体重減少率が増加する。
- 3) 血清アルブミン値が増加する。
- 4) クレアチニン身長係数が低下する。
- 5) 尿中 3-メチルヒスチジン排泄量が増加する。

問題 60. 動的栄養指標として正しいのはどれか。

- 1) 窒素平衡
- 2) 身長体重比
- 3) アルブミン値
- 4) 血中リンパ球数
- 5) 上腕筋囲（AMC）

問題 61. クワシオルコルのマラスムスに対する特徴として正しいのはどれか。

- 1) 予後は比較的良い。
- 2) 免疫力は保たれる。
- 3) 著名な体重減少がみられる。
- 4) たんぱく質摂取量が少ない。
- 5) 血清アルブミン値は維持される。

問題 62. ミネラル欠乏症として正しい組み合わせはどれか。

- | | | |
|-----------|----|--------|
| 1) 銅 | —— | 高血圧 |
| 2) 亜鉛 | —— | 貧血 |
| 3) セレン | —— | 色素脱落 |
| 4) カルシウム | —— | 甲状腺肥大症 |
| 5) マグネシウム | —— | 骨形成障害 |

問題 63. 高尿酸血症患者が控えたほうが良いプリン体を多く含む食品はどれか。

- 1) 鶏 卵
- 2) 穀 類
- 3) 内臓類
- 4) 海藻類
- 5) コーヒー

問題 64. 高血圧症の患者に、ナトリウムの排泄を促すために勧められるミネラルはどれか。

- 1) リ ン
- 2) 亜 鉛
- 3) カリウム
- 4) カルシウム
- 5) マグネシウム

問題 65. 腎機能障害の患者に対する栄養療法の原則として正しいのはどれか。

- 1) 低糖質食
- 2) 低脂肪食
- 3) 高食塩食
- 4) 高エネルギー食
- 5) 高たんぱく質食

問題 66. 肝疾患と栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 脂肪肝では高たんぱく質食が基本となる。
- 2) 慢性肝炎では低たんぱく質食が基本となる。
- 3) 高アンモニア血症の場合はたんぱく質摂取を控える。
- 4) 肝性脳症がある場合は芳香族アミノ酸が有効である。
- 5) アルコール性肝障害ではエネルギー制限食が基本となる。

問題 67. 膵炎患者の栄養療法として正しいのはどれか。

- 1) 脂質は 30g 以下とする。
- 2) アルコールは適量までとする。
- 3) 急性期には経腸栄養剤を投与する。
- 4) 脂肪便がみられた場合は食事に脂肪を付加する。
- 5) 肥満にならないようにエネルギー制限を行なう。

問題 68. 褥瘡と栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 発症のリスク因子として低栄養がある。
- 2) ビタミンAをできるだけ多く摂取する。
- 3) 褥瘡の予防には亜鉛の補充が有効である。
- 4) たんぱく質摂取量は 1 日に 30g 程度にする。
- 5) 痩せにくらべて肥満の高齢者は発症リスクが高い。

問題 69. 医療用医薬品に関する事項で誤っているのはどれか。

- 1) 薬 価
- 2) 薬 局
- 3) 薬剤師
- 4) 消費期限
- 5) 処方せん

問題 70. 小腸から多くの医薬品が吸収される。その主な理由はどれか。

- 1) 酸性である。
- 2) 表面積が大きい。
- 3) 滞留時間が長い。
- 4) 胆汁が分泌されている。
- 5) 消化酵素が分泌されている。

問題 71. 牛乳でテトラサイクリンを服用すると効力が減弱する。牛乳中のどの成分が原因であるか。

- 1) 乳糖
- 2) 乳脂肪
- 3) ビタミン
- 4) カゼイン
- 5) カルシウム

問題 72. ニフェジピン（降圧薬）の薬効を増強する可能性があるのはどれか。

- 1) ブドウジュース
- 2) リンゴジュース
- 3) オレンジジュース
- 4) パイナップルジュース
- 5) グレープフルーツジュース

問題 73. Cytochrome P-450 (CYP) について誤っているのはどれか。

- 1) 一酸化炭素と結合する。
- 2) 主に肝ミクロソームに局在する。
- 3) 鉄を含むヘムたんぱく質である。
- 4) 薬物代謝第 II 相反応の抱合化を行う。
- 5) 分子量は約 45~60 kDa である。

問題 74. セント・ジョーンズ・ワート含有のハーブティーの連用摂取で、どのような作用が現れるか。

- 1) CYP2E1 が誘導される。
- 2) 交感神経興奮作用が現れる。
- 3) アスピリンの作用が減弱する。
- 4) ジゴキシンの薬効が増強する。
- 5) タクロリムスの薬効が低下する。

問題 75. ワルファリンについて誤っているのはどれか。

- 1) 抗凝固作用を有している。
- 2) 納豆の摂取で薬効が低下する。
- 3) ビタミンKの摂取で薬効が増大する。
- 4) 低用量アスピリンの作用機序とは異なる。
- 5) ニンニクの摂取は血液抗凝固作用の増強の可能性はある。

問題 76. 以下の組み合わせで、医薬品のAUCに影響する可能性のないのはどれか。

- | | | |
|--------------|----|-----------------|
| 1) イソニアジド | —— | 赤ワイン |
| 2) シプロフロキサシン | —— | 牛 乳 |
| 3) レボドパ | —— | ビタミンB6 |
| 4) アトルバスタチン | —— | グレープフルーツジュース |
| 5) シクロスポリン | —— | セイヨウオトギリソウ (連用) |

問題 77. 喫煙で誘導される酵素はどれか。

- 1) CYP1A2
- 2) CYP2C9
- 3) CYP2C19
- 4) CYP2D6
- 5) CYP3A4

問題 78. 低用量アスピリンの作用について正しいのはどれか。

- 1) 納豆の摂取で作用は減弱する。
- 2) チョコレートの摂取で作用が増強する。
- 3) 牛乳と同時に服用すると作用は低下する。
- 4) グァバ葉ポリフェノールの摂取で作用は低下する。
- 5) ドコサヘキサエン酸(DHA)の摂取で血液抗凝固作用が増強する可能性がある。

問題 79. 消費者安全法の目的で正しいのはどれか。

- 1) 商品の不当表示
- 2) 商品の適正な選択
- 3) 商品の適正な流通
- 4) 飲食の危害発生防止
- 5) 消費生活における被害防止

問題 80. 食品安全基本法で「リスクコミュニケーションの総合調整」を行うのはどこか。

- 1) 生産者
- 2) 食品販売者
- 3) 市町村の行政
- 4) 消費者庁
- 5) 厚生労働省

問題 81. HACCPとは、以下のどれか。

- 1) 食品製造法
- 2) 危機管理点
- 3) 食品管理分析点
- 4) 危機判断分析法
- 5) 危機分析重要管理点

問題 82. 特別用途食品でないのはどれか。

- 1) 妊産婦、授乳婦用粉乳
- 2) 病者用食品
- 3) えん下困難者用食品
- 4) 栄養機能食品
- 5) 乳児調整乳

問題 83. 健康増進法が施行されたのはいつか。

- 1) 昭和 22 年
- 2) 平成 4 年
- 3) 平成 15 年
- 4) 平成 31 年
- 5) 令和 元年

問題 84. 医薬品と判断する根拠となるのはどれか。

- 1) 内容量の表記
- 2) 丸剤の形状
- 3) 「ダイエットの栄養補給に」の表記
- 4) 「朝食後一錠をお飲みください。」の表記
- 5) 「美肌づくりのナンバー 1 です。」の表記

問題 85. 特定商取引法のクーリング・オフで 20 日間が認められているのはどれか。

- 1) 店舗販売
- 2) 訪問販売
- 3) 連鎖販売取引
- 4) 郵便での申し込み
- 5) 電話での申し込み

問題 86. 日常初期診療におけるスクリーニング検査項目でないのはどれか。

- 1) 尿潜血
- 2) A S T
- 3) 血液型
- 4) 尿たんぱく
- 5) 尿素窒素 (UN)

問題 87. 集団の基準範囲と個人の生理的変動範囲がほとんど変わらないのはどれか。

- 1) I g G
- 2) I g A
- 3) I g M
- 4) アルブミン (ALB)
- 5) クレアチニン (CRE)

問題 88. 血清成分とその影響との関係で正しいのはどれか。

- 1) 尿酸 —— 食事で減少
- 2) 中性脂肪 —— 食事で減少
- 3) 遊離脂肪酸 —— 食事で減少
- 4) γ -G T —— 運動で増加
- 5) C K —— 運動で減少

問題 89. 血中成分について女性が高値を示すのはどれか。

- 1) F e
- 2) C K
- 3) 尿酸
- 4) クレアチニン
- 5) HD L-コレステロール

問題 90. メタボリックシンドロームについて誤っているのはどれか。

- 1) 生活習慣に起因する。
- 2) 動脈硬化を進展させる。
- 3) 病初期は自覚症状がほとんどない。
- 4) 心筋梗塞、脳卒中、腎不全などの重篤な疾患への進展につながる。
- 5) 内臓脂肪肥満の他に高血糖、脂質異常、高血圧の 1 つ以上を合併した病態をいう。

問題 91. 特定健診の検査項目でないのはどれか。

- 1) A S T
- 2) A L T
- 3) 血 圧
- 4) アルブミン
- 5) H D L - コレステロール

問題 92. 特定健診について誤っているのはどれか。

- 1) 生活習慣病予防のための健診制度である。
- 2) 健診の対象者は保険加入者及びその被扶養者である。
- 3) 受診対象者は 40 歳から 64 歳の全国民（保険加入者）である。
- 4) 内蔵脂肪蓄積の程度とリスクの高さに応じて保健指導が行われる。
- 5) 内臓脂肪肥満、糖尿病、脂質異常症、高血圧症の対象者を選出する。

問題 93. 脂質異常症の診断基準として誤っているのはどれか。

- | | | |
|-------------------------------------|----|-------------------------|
| 1) L D L - C \geq 140 mg/dL | —— | 高 L D L コレステロール血症 |
| 2) L D L - C = 120 ~ 139 mg/dL | —— | 境界域高 L D L コレステロール血症 |
| 3) H D L - C < 50 mg/dL | —— | 低 H D L コレステロール血症 |
| 4) T G \geq 150 mg/dL (空腹時) | —— | 高 T G 血症 |
| 5) n o n H D L - C \geq 170 mg/dL | —— | 高 n o n H D L コレステロール血症 |

問題 94. 糖尿病の診断基準で「糖尿病型」と診断されるのはどれか。

- 1) 尿糖陽性
- 2) 空腹時血糖 \geq 110 mg/dL
- 3) 75 g O G T T 2 時間値 \geq 140 mg/dL
- 4) 随時血糖値 \geq 180 mg/dL
- 5) H b A 1 c (N G S P 値) \geq 6.5%

問題 95. 健常人の血糖腎閾値として最も適切なのはどれか。

- 1) 80 mg/dL
- 2) 100 mg/dL
- 3) 140 mg/dL
- 4) 180 mg/dL
- 5) 210 mg/dL

問題 96. コレステロールは上昇、中性脂肪は基準範囲内となる脂質異常症はどれか。

- 1) I 型
- 2) II a 型
- 3) II b 型
- 4) III 型
- 5) IV 型

問題 97. 動脈硬化の危険因子に該当しないのはどれか。

- 1) 加 齢
- 2) 貧 血
- 3) 高血圧
- 4) 糖尿病
- 5) 高脂肪食

問題 98. 急性心筋梗塞で増加する血液成分はどれか。

- 1) 赤血球数
- 2) 総たんぱく
- 3) 血清ALP
- 4) CK-MB
- 5) クレアチン

問題 99. ホルモンと分泌臓器との関連で誤っているのはどれか。

- 1) レニン ——— 肝 臓
- 2) エリスロポエチン ——— 腎 臓
- 3) 抗利尿ホルモン（ADH）——— 脳下垂体後葉
- 4) アルドステロン ——— 副腎皮質
- 5) インスリン ——— 膵 臓

問題 100. 急性腎不全で増加する血清成分はどれか。

- 1) A S T
- 2) A L T
- 3) A L P
- 4) アミラーゼ
- 5) クレアチニン